

補足説明

1 交通安全に係る現状と課題について

(1) 交通安全に係る現状認識について

- 交通事故の発生状況・特徴
 - ・交通事故の発生件数や死傷者数などの推移や重点的な対策が必要となる交通事故の特徴は何か。
- 当事者の特徴
 - ・交通事故の当事者（加害者・被害者）の年齢層別の傾向や特徴は何か。また、高齢者、子ども、自転車利用者など、特に留意すべき対象はあるか。
- 交通事故が発生しやすい状況
 - ・運転者や歩行者・自転車利用者の視点から、交通事故が起こりやすい場面や要因や時間帯、季節（冬季を含む）、道路環境など、事故が発生しやすい状況はあるか。

(2) 現状・特徴を踏まえた課題認識について

- 交通事故が発生する要因
 - ・交通事故は、どのような要因によって発生していると考えるか。

（例）：交通ルールやマナーの理解不足、交通安全意識の欠如、焦りや誤認、慢心など当事者の注意不足、自動車や自転車等の運転技術や危険予測能力の不足、高齢化に伴う身体機能・認知機能の変化、道路構造や交差点、視界不良など交通環境上の課題

2 第12次帯広市交通安全計画における目標について

《参考：第11次計画の目標》

第11次計画では、交通事故のない社会の実現を目指し、以下の3つの目標を設定。

- ①交通事故死者数は、ゼロとする。
- ②交通事故年間平均発生件数及び負傷者数を減少させる。
- ③交通事故年間平均重傷者数を減少させる。

3 今後の対応方向について

目標達成に向け、今後どのような視点を重視すべきか。

- 対象者別の視点
 - ・高齢者、子ども・学生、外国人、障害者など
- 交通安全行動別の視点
 - ・飲酒運転の根絶、速度超過対策、シートベルト・チャイルドシート着用、自転車ヘルメット着用促進、横断歩道における歩行者優先の徹底、高齢者への安全運転支援など
- 道路交通環境の整備
 - ・生活道路の安全対策、通学路の安全確保、冬季における安全対策（除雪・凍結対策等）、交通安全施設（標識・区画線・照明等）の整備・維持管理
- 交通安全教育・啓発
 - ・交通ルールや交通安全意識の向上を図るための交通安全教室、地域・学校・北海道・関係機関等と連携した交通安全運動、SNSなどを活用した啓発など